

Ⅵ 教護院の年長児童の状況

1 年長児童の就学状況

今回の調査に回答を得られた年長児童数は、955 人であった。その内男子は 617 人（64.6%）、女子は 299 人（31.3%）、性別不詳が 39 人（4.3%）となっている。

また、就学状況別の年長児童数は表 42 のとおりである。

表42 教護院の年長児童の就学状況

	総数	中3	中卒	高1	高2	高3	高4	通信制	高卒	専修学	公職訓	その他	不詳
総数	955 100.0%	701 73.4%	110 11.5%	50 5.2%	17 1.8%	6 0.6%	8 0.8%	1 0.1%	1 0.1%	1 0.1%	3 0.3%	19 2.0%	38 4.0%
男	617 [64.6]	497 [80.6]	57 [9.2]	23 [3.7]	12 [1.9]	5 [0.8]	8 [1.3]	1 [0.2]	1 [0.2]	-	2 [0.3]	11 [1.8]	-
女	299 [31.3]	204 [68.2]	52 [17.4]	26 [8.7]	5 [1.7]	1 [0.3]	-	-	-	1 [0.3]	1 [0.3]	8 [2.7]	1 [0.3]

注) 総数には、性別不詳 39 人を含む。

総数欄の%つきの数字は、就学状況の構成割合。[]内の数字は、就学状況別構成割合。

2 児童の生活行動経験

思いやりの行動や社会的自立に関わる行動として、養護施設と同様の項目で、それぞれについての経験の有無を聞いた。

全項目中で最も多く経験しているのは「ク.自分の気に入った洋服や持ち物を選んで買ったこと」の 89.8%で、ほとんどの者が経験しており、逆に少ないのは「キ.一人で銀行や役所（区役所・市役所・町役場等）などで、手続きをしたこと」の 25.8%となっている。

男女間で差の大きい項目は、「オ.赤ちゃんをあやしたり、おむつの世話をしたこと」で女子が 27.7 ポイント大きくなっている。

今回新たに質問項目を設定したいじめに関しては、「大勢でいじめた」が全体で 52.5%、「いじめを受けていた」が 42.1%で、いずれも養護施設より高くなっている。男女別では、「大勢でいじめた」が男子 51.4%、女子 61.2%、「いじめを受けていた」が男子 40.8%、女子 49.5%であり、ともに男子より女子の方が高い。

表43 教護院の年長児童の経験状況

	実数	ア.ネコの世話	イ.人を助ける	ウ.やりとげる	エ.旅行	オ.赤ちゃん	カ.ボランティア	キ.手続き	ク.買う	ケ.アルバイト	コ.大勢でいじめた	ク.いじめを受けていた
総数	955	79.3%	62.1%	70.3%	29.5%	47.8%	44.8%	25.8%	89.8%	41.5%	52.5%	42.1%
男	617	82.0%	61.3%	73.7%	30.3%	40.5%	46.0%	23.8%	92.4%	41.7%	51.4%	40.8%
女	299	83.3%	71.2%	71.6%	31.4%	68.2%	47.5%	33.1%	95.7%	45.8%	61.2%	49.5%
中3	701	85.5%	64.1%	73.6%	29.4%	49.9%	43.2%	23.7%	92.6%	36.0%	56.5%	38.2%
中学卒業	110	75.5%	63.6%	69.1%	30.0%	45.5%	56.4%	34.6%	94.6%	60.9%	53.6%	58.2%
高校生等	106	70.6%	69.8%	74.5%	40.6%	52.8%	59.4%	39.6%	98.1%	71.7%	43.4%	66.0%

3 大切なこと

養護施設と同様に、大切なことと思うものについて回答してもらった。

最も選択率の高かったものは、「2.家族で仲良く生活すること」の 57.3%で、次いで「5.健康であること」の

49.9%、「4.友達がたくさんいること」の47.2%となっている。

逆に、最も選択率の低かったものは、「1.勉強ができること」の7.5%で、次いで「8.人の嫌がる事をすすんでやること」の10.7%、「3.お金がたくさんあること」の17.6%、となっている。

男女間で差の大きい項目は、「運動や歌などで、何か得意なもの(特技)があること」で男子が10.1ポイント大きいのに対し、「9.勇気を持っていること」で女子が12.0ポイント大きくなっている。

表44 教護院の年長児童の大切なこと(3つ選択)

	実数	1.勉強	2.家族	3.お金	4.友達	5.健康	6.特技	7.夢	8.すすんでやる	9.勇気
総数	955	7.5%	57.3%	17.6%	47.2%	49.9%	21.7%	44.9%	10.7%	27.7%
男	617	8.9%	55.9%	18.8%	50.6%	50.4%	25.8%	49.6%	10.5%	26.1%
女	299	5.7%	67.6%	17.4%	46.2%	54.8%	15.7%	40.8%	12.4%	38.1%
中3	701	7.4%	60.6%	17.0%	49.2%	51.9%	22.5%	47.5%	9.6%	31.4%
中学卒業	110	10.9%	54.5%	26.4%	41.8%	56.4%	27.3%	41.8%	16.4%	20.0%
高校生等	106	7.6%	57.5%	18.9%	55.7%	48.1%	17.9%	47.2%	15.1%	32.1%

4 高等学校(各種学校)進学希望

教護院入所児童のうち、中学3年生の高等学校または各種学校への進学希望は、表45のとおりである。2月の時点での進学を希望する者の割合は52.4%(前回50.2%)、まだ考えていない者は11.6%(前回11.9%)、進学を希望していない者は34.0%(前回36.5%)となっており、前回調査より進学希望が漸増している。

養護施設入所児童と同様に、男子よりも女子の方が進学希望の割合が14.0ポイント高い。

表45 教護院の年長児童の高等学校(各種学校)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	無回答
中学3年生	701	52.4%	11.6%	34.0%	2.1%
男	497	48.3%	12.7%	36.8%	2.2%
女	204	62.3%	8.8%	27.0%	2.0%

5 大学(短大)進学希望

中3以上の年長児童全員の大学または短期大学への進学希望は、表46のとおりである。

大学(短大)進学希望者の割合は8.6%(前回6.5%)、考えていない28.1%(前回28.5%)、希望しない56.2%(前回62.2%)となっており、前回調査より進学希望が増え、進学を希望しない者が減っている。性別では、高等学校(各種学校)同様、女子の方が進学希望の割合が3.8ポイント高い。

表46 教護院の年長児童の大学(短大)進学希望

	実数	希望する	考えていない	希望しない	無回答
総数	955	8.6%	28.1%	56.2%	7.1%
男	617	7.6%	29.7%	58.8%	3.9%
女	299	11.4%	28.4%	57.9%	2.3%
中3	701	8.0%	30.5%	58.5%	3.0%
中学卒業	110	7.3%	28.2%	60.9%	3.6%
高校生等	106	17.0%	21.7%	55.7%	5.7%

6 将来の希望 (1) - 職業 -

養護施設と同様に、将来やりたい職業について選択した結果が表 47 である。

男子では、「大工・建設業」34.5%、「飲食業」8.3%、「工場に勤める」6.8%などが上位を占めている。女子では、「美容師・理容師」20.4%、「学校の先生や保母・看護婦など」12.0%、「飲食業」11.7%が上位を占めている。

女子の希望で男子と異なる特徴は、「美容師・理容師」、「学校の先生や保母・看護婦など」、「商店に勤める」の割合が高くなっており、「大工・建設業」、「工場に勤める」の割合が低くなっている。

表47 教護院の年長児童の将来の希望(職業)

	実数	会社や 役所に 勤める	工場に 勤める	商店 に勤 める	農 業 漁 業 林 業 等	先生 看護婦 等	運 転 手・ パ・ロ 外等	美容 理容	飲食業	スポーツ 芸能 芸術	警察 消防自 衛官	大工 建設業	新 聞 記者 アナウン サー	医者 弁 護 士	その他	未決
総数	955	2.3%	5.6%	4.8%	2.9%	4.9%	4.6%	8.6%	9.0%	4.7%	1.7%	22.9%	0.1%	0.5%	10.4%	11.8%
中3	701	2.3%	5.3%	4.4%	2.9%	4.4%	4.4%	9.3%	9.0%	5.0%	1.6%	27.3%	-	0.7%	11.0%	11.4%
中学卒業	110	0.9%	9.1%	7.3%	3.6%	3.6%	5.5%	7.3%	11.8%	4.6%	1.8%	15.5%	0.9%	-	12.7%	13.6%
高校生等	106	4.7%	5.7%	6.6%	3.8%	11.3%	6.6%	8.5%	9.4%	4.7%	2.8%	10.4%	-	-	7.6%	16.0%
男	617	3.2%	6.8%	2.4%	3.2%	1.8%	5.5%	3.4%	8.3%	4.7%	1.9%	34.5%	0.2%	0.7%	10.2%	11.8%
中3	497	2.8%	6.4%	2.2%	3.4%	0.8%	4.8%	3.6%	7.2%	4.6%	1.6%	37.4%	-	0.8%	10.9%	11.9%
中学卒業	57	1.8%	7.0%	1.8%	3.5%	1.8%	7.0%	5.3%	14.0%	3.5%	3.5%	28.1%	1.8%	-	8.8%	8.8%
高校生等	63	7.9%	9.5%	4.8%	1.6%	9.5%	9.5%	-	11.1%	6.4%	3.2%	17.5%	-	-	6.4%	9.5%
女	299	0.7%	3.3%	10.4%	2.7%	12.0%	3.3%	20.4%	11.7%	5.4%	1.3%	2.0%	-	0.3%	12.0%	14.0%
中3	204	1.0%	2.5%	9.8%	1.5%	13.2%	3.4%	23.0%	13.2%	5.9%	1.5%	2.5%	-	0.5%	11.3%	10.3%
中学卒業	52	-	9.6%	13.5%	3.9%	5.8%	3.9%	9.6%	9.6%	5.8%	-	1.9%	-	-	17.3%	15.2%
高校生等	42	-	-	9.5%	7.1%	14.3%	2.4%	21.4%	7.1%	2.4%	-	-	-	-	9.5%	23.8%

7 将来の希望 (2) - 家庭復帰、結婚、自立 -

もとの家庭への復帰希望、早く結婚したいかどうか、施設から出て自活する自信の有無を聞いた結果が表 48 である。

早くもとの家庭へ復帰したい者は 76.0% (前回 81.5%)、早く結婚して落ち着いた家庭を作りたいと答えた児童は 51.6% (前回 49.8%)、施設を出て、自分で生活することに自信があると答えた児童は 54.1% (前回 56.9%) となっている。養護施設児と同様、前回調査に比し自分で生活することに自信があると回答は漸減している。

表48 教護院の年長児童の将来の希望(家庭復帰、結婚、自立)

	実 数	家庭復帰	結婚したい	生活してい く自信
総 数	955	76.0%	51.6%	54.1%
男	617	78.8%	54.1%	58.5%
女	299	79.6%	52.8%	51.5%
中3	701	83.3%	54.8%	58.6%
中学卒業	110	69.1%	48.2%	47.3%
高校生等	106	61.3%	51.9%	50.0%

注) 総数には性別不詳 39 人を含む。

8 友人関係

友人関係であるが、表49をみるとわかるように、「親身になってくれるともだちがいますか。」という質問に対して、「いる」という回答をした年長児童は53.5%、「いない」は11.0%、「わからない」は29.9%であった。

表49 教護院の年長児童の友人関係

	実数	いる	いない	わからない	不詳
総数	955	53.5%	11.0%	29.9%	5.5%
男	617	51.4%	11.7%	34.8%	2.1%
女	299	64.5%	10.7%	23.7%	1.0%
中3	701	55.3%	11.0%	32.1%	1.6%
中学卒業	110	56.4%	12.7%	26.4%	4.5%
高校生等	106	56.6%	13.2%	30.2%	-

注) 総数には性別不詳 39 人を含む。